

学びの要素を紹介します

園では1年間に4つの探究活動(ユニットと呼びます)に取り組めます。IB教育には、学ぶべき知識は定められていませんが、学びを支える要素が設定されています。以下に、各ユニットに設定する要素を紹介いたします。

教科の枠を超えたテーマ: ユニットごとの大きな枠組みです。
セントラルアイデア: ユニットを通して気づいてほしいことです。

教科の枠を超えた学習を支える**特定概念**が示されています。子どもたちはこれら概念のレンズを通して、物事を見ることでより深く学び、他の事柄に繋げることができます。

10の学習者像:

IBの目指す姿にある「国際的な視野を持つ」ことを具体的に表したものが学習者像です。園ではオリジナルのロゴマークを使って、子どもたちにわかりやすく伝え、評価に活用しています。新聞内のイラストをご覧ください。

スキル(ATL: Approach to Learning):

学習の基礎となる5つのスキルを示しています。

年少組

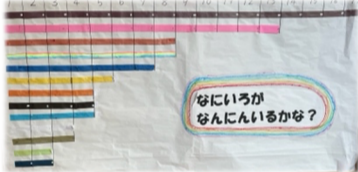
探究の流れ

1 好きに気がつく

園生活に慣れ、2学期からは「お当番活動」が始まりました！朝の会で、お名前と好きなものを発表します。「～です」の言い方も上手になり、「今日はお当番さん！」と自分の役割をやり遂げようとする**信念をもつ人**の頼もしい姿も見られるようになりました。



関連



3 他者と自分

お友達との関わりがぐんと増えた2学期。お店やさんごっこでは、品物作りやお店やさん役を通して少しずつクラスのまとまりができてきました。発表会の劇作りでは、役・衣装を自分で選び、楽しんで取り組みました。**思考スキル**を活用し台詞や歌の振り付けを自主的に決める場面も！PYPで重要な、子ども達が自分で選び・進める力「エージェンシー」を伸ばすことができました。



Who we are (私たちは誰なのか)
いろいろな人がいて、みんな繋がっている

特徴



お当番の仕事頑張るよ！

2 自己表現(好きを伝える)

自分の好きな色の服を着て楽しんだワンカラーデー。英語の先生と一緒に、同じ色のチーム作りや玉入れなどをしました！色ごとのリボンを使って、人数の違いを測りながら、色の違いだけでなく、「多い」「少ない」など数の要素にも触れました。

年少さんは目に見える**特徴**から、「赤色、同じだね！」「違って楽しいね！」と違いを認める**心を開く人**の姿を育みます。

How the world works

(世界はどのような仕組みになっているのか)
自然のサイクルは私たちの生活に影響を与える

年間を通して、季節や自然のサイクルを探究している年少さん。

2学期は夏休みの思い出の写真を共有することから始まりました！お友達の思い出を聞きながら、「海・川」「お盆」などの新しい言葉にも触れました。

「ここ(日陰)は太陽がないから涼しいね」など**知識のある人**の発言も多く見られました！

特徴



秋になると葉っぱの色が変わるよ！



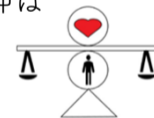
変化

気温が下がり、お散歩に行けるようになると、秋ならではの落ち葉やどんぐり拾いをして楽しみました！

集めた素材を使った製作や、秋のフィールドビンゴなど全体の活動をきっかけに、普段の外遊びやお散歩でも自然に興味を持つ**探究する人**の姿が伸びました！

色・形・温度など五感を使って様々な**変化**に気づくことができました。

今年度から「季節と私たちの生活の関わり」をテーマに、子ども達が自ら着る服を選ぶ取り組みを始めました。「寒かったから長袖で来たよ！」など衣服の調整を自らする**バランスのとれた人**の姿が見られました。自分の健康を保つ**自己管理スキル**も、できることから伸ばしていきます。



年中組

探究の流れ

1 友達の存在

「Who we are」のテーマは、年少さんの「好き」から年中さんの「友だち」のユニットに繋がります。はじめに、自己紹介カードの発表や名刺交換をしました！「〇〇くんは恐竜が好きだね」など自分だけでなくお友達のことも知る機会になり、共感を示す**社会性スキル**を育みました。

視点



2 友達との関わり方

絵本を読みながら、気持ちには色々な種類があることを学びます。

日々の生活で感情が動いた時に、その気持ちの色を塗る活動では「友達と遊べて嬉しかった」「ボールが上手くできなくて悔しかった」など様々なエピソードが集まりました。絵本「ええところ」からお友達のいいところを見つける**思いやりのある人**の姿も！

関連



3 みんなとわたし

お友達との関わりを通して、みんなそれぞれの感じ方や気持ちがあることを学んだ年中さん。お店やさんごっこでは、自分のやりたいことだけでなく他者のアイデアを聞く**コミュニケーションスキル**を発揮しながらお店を作り上げました！最後には、ユニットで探究したことを元にどんなクラスにしたいか「**エッセンシャルアグリーメント**」を作りました。



How we express ourselves

(世界はどのように自分を表現するのか)

私たちは物語を通して、伝えたいことを表現することができる

1 登場人物の特徴

2学期後半は発表会と関連付け、「表現」のユニットに取り組めます。劇を話し合いで決めたり、全体のバランスを考えて役を譲ったり、年少さんから成長した姿が見られました。衣装も自分たちでデザインし、どんなキャラクターになるのか考えながら練習を始めました！

特徴



視点



2 色々な表現方法

題材の絵本を見返ししながら、みんなでセリフを考えたり、歌の振り付けのアイデアを出したりなど、様々な表現方法を考えながら**コミュニケーション**ができる人の姿を伸ばしていきます。



振り返りができる人



原因

3 より良く伝えるための工夫

練習のビデオを見て、「もっと大きな声で台詞を言わないと！」「ふらふら動いちゃったな」など**思考スキル**を活用し、自分たちの劇を振り返りました。本番では緊張しながらも、役になりきる**挑戦する人**の成長した姿がありました！



年長組

探究の流れ

1 どのような光があるか

身の回りに溢れる「光」ってどんなものだろう？週ごとにテーマを設定し、様々な視点から光の**特性**を学びました。また遊びを通して光の**機能**に気づき、現象の**原因**を探ることで、科学の不思議に触れました。

ピカピカ week

お家からピカピカだと思えるものを持ってきて、園庭に出てみると…光った！身近なものから太陽の光を**反射**するものに気づきます。光のアトリエにできた暗闇の中では光らないものも。光を出すもの（**光源**）と光を照らすとピカピカするものがあることを学びました。「どうしてこうなるの？」という疑問を大切に**リサーチスキル**を育みました！

特徴



探究する人

かげ week

かげふみや影絵で遊びながら、光と影の関係性に気づき、学びを深めていきます。切り絵を使って、影絵の劇を作ったり、園庭にできた影を使って鬼ごっこを作ったり、**思考スキル**を活かしながら創造的な遊びを楽しみました！

機能

影ができる向きは決まっているんだね！



スケスケ week

透明な積み木や懐中電灯など、お部屋の自由遊びからも光の**透過**に気づく年長さん。「なんで？」の疑問が「試してみよう！」になり、自然と実験を始め、思考を深める**考える人**の姿が見られました。カラーセロファンを重ねて、様々な色を作ることに興味を持ち、子どもたちの意見から素敵な製作が出来上がりました！

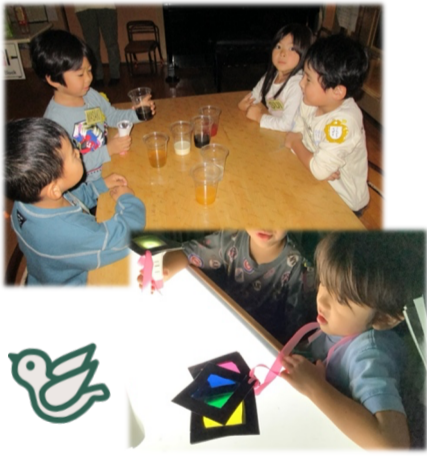


原因



フリースタイル英語

週に1回のフリースタイル英語では、講師の先生と協働で活動を計画しています。ユニットと関連させながら着目するフレーズを意識してアクティビティに取り入れています。年長さんは飲み物をライトで照らす実験をし、種類や混ぜることによる結果を確かめました。「Pass through (光を通す)」「Block (通さない)」など、定着している知識を英語に置き換えることでより深い理解へと導きます。英語活動の動画は、幼稚園ブログをご覧ください！



Where we are in place and time

(私たちはどのような場所と時間にいるのか) 時代の流れとともに、暮らしは変化し続ける

1 昔の生活

「昔ってなんだろう？」「今と何が違うのかな？」昔話の絵本を読みながら、探究が始まりました！時代や道具の名前など新しい知識に触れ、わかることが増えるとまた次の疑問が湧いてきます。時にはお家の方に聞いたり、一緒に調べたりしたことをクラスで共有する、**知識のある人**の姿がたくさんありました！



視点

2 今と昔を比較する

昔について知りたいことを集め、色々な昔話を読みながら、発表会の題材を決めていきました！劇づくりでは、台詞や小道具、歌の歌詞などに子どもたちが調べたことを盛り込みました。時には絵本に描いてある事も、「本当にそうかな？」と別の絵本やiPadなどのリソースを活用して批判的に考え、情報を確かめる**思考スキル**も育みました。

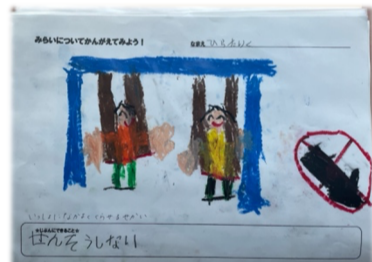


変化

3 これからの生活

昔話の劇づくりを通して、「今も昔も良いところがある」「人の心は変わらないね」と大切なことに気づいた子どもたち。今と昔のディベートをすると、「今は便利だけど新しいものが増えて覚えるのが大変だね」「でも今は遠くまで行けるようになったよね」など今までの学びを活かした意見が多く出ました！最後に、なりたい未来を絵に描くと「CO2の出ない車を作りたい」や「喧嘩のない未来」などIBの理念である「より良い、より平和な世界」と結びついた**心を開く人**の素敵なアイデアが出ました！

墨をすって習字をしてみたよ！



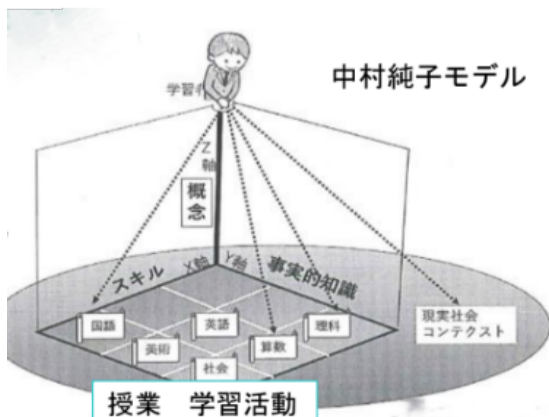
誕生会と10の学習者像

各月の誕生会の様子はブログでご覧いただいておりますでしょうか？帰りの会で、お友達の良いところを伝え合うクラスでは、学習者像になぞらえた姿が聞かれるようになりました。挑戦する人や知識のある人など子どもたちが自ら当てはまる学習者像を選ぶ場面も！どの学年も、IB教育の鍵である探究する人の姿も多く見られます。冬休み中に、ぜひご家庭でも、IBの10の学習者像を見てみてください。今の自分やこれからなりたい学習者像を選んでみるのも良いかもしれません。発行者：中嶋の目標は「心を開く人」です！



10の学習者像はこちら！(IB資料「学習と指導」より)

概念的理解がなぜ重要か



中村純子モデル

PYPでは、**概念レンズ**を通して物事を理解することが重要とされています。特に幼児期の子どもたちは、時間や教科で区切られない学習体験(遊び)を通して新たな知識に触れ、学ぶための方法、つまり**スキル(ATL)**を育んでいきます。教科書や絵本に書かれていることを覚えるのではなく、五感を使って体験したことを、「Z軸」の概念によって体系化することで、**現実社会との繋がり**を見出し、いけるのです。身近な体験や遊びから、より普遍的理解に繋げ、社会や世界との関わりの中で「生きる」学びの場であるために、子どもたちに関わる人全てが「学習者」としての姿勢を忘れずにいたいのです。

出典：IB コンソーシアム 第1回オンラインPYP教員研修 2024年12月1日 「概念的理解を促すPYP探究の学び」 東京学芸大大学院 国語サブプログラム 准教授 中村 純子



今学期もワークショップのご参加ありがとうございました！



幼児期におけるATLはこちら！(IB資料「学習者」より)